



会場は楽しい雰囲気いっぱい

董事長が表彰

陳總經理が表彰

生産管理部門の舞蹈



海外営業グループの合唱

品質管理部門の「快板」

李威瀚さんの歌

劉桂琴さんのピアノ演奏

合璧では従業員の、一年の苦労を労うため、忘年会を開催しました。これにあたっては雰囲気大いに盛り上げようと綿密な計画を立て、十分な準備を行いました。その結果、みんなの熱演もあって、当日は素晴らしい忘年会になりました。以上はみんなの熱演で最高に盛り上がる出し物の写真、以下は品質管理部門の女性たちによる*「快板」です。「快板」の歌詞は品保部の劉雪花主任の作詞によるもので、合璧の歴史や経営理念、企業文化から董事長の処世哲学、「関心、関懐、関照（気配りと思いやりで接する）」、「同心、同歩、同調（同じ心と同じリズムでともに歩む）」といった内容が見事に盛り込まれていました。

品保課の女性たち。舞台へ！舞台へ！舞台へ！楽しい歌と笑いで迎える新年。一足早くみなさんにごあいさつ申し上げます。でも、お年玉なららないよ。会場いっぱい集まったみんな、わたしが話して聞かせよう。さてさて何を話そうね。

春のような南風の暖かさでもない。凍りのような北風の寒さでもない。そうだ、わたしたち合璧の歴史は四十年だ！

七十年代は創立期。合璧の熱硬化成形加工がはじまりました。九年にわたってリードする、詹董事長と陳總經理。創業時代の苦労も何のその。オートバイで納品だ。お客は感動、合璧の力になってくれた。力になってくれた！

二つ目の段階は転換期。ちょうど合璧の九周年。汗水苦勞を收穫。会社は成長、本領發揮。みんな一生懸命、勤勉で強い責任感。三つ目の段階は国際化。十年かかって技術は向上。世界に羽ばたく雄子台。四つ目、五つ目の段階を迎えて、このときすでに四十年。常に発展する合璧。どうしてそんなにすごいのか。

会社のことばは儼然として、わたしたちの大家族についても話そうか。生活の変化は明らかだ。社員寮は増えて、条件もよくなった。インターネットにテレビはもちろん、コンピュータもできるから、健康面でも安心だ。学習室に並んだドキュメンター。専門の先生が教えてくれる。仕事のほかにも増える知識。これは本当に宝物。それから大事なことは、新入社員。彼らを温かく迎え入れる。

「関心、関懐、関照（気配りと思いやりで接する）」大事なときには愛を。みんな家族のように。家族のように！

さてさてこれから話すのは、私が董事長。未来の四十年に挑戦だ。ほかには知らない独自の処世哲学。登上等願・結中等縁・享下等福；擇高處立・尋平處住・往寬處行（目標を高く持ち、普通の人たちとの縁を大切に、簡素な喜びに幸せを感じる。広い視野で安定を求めれば事は成しやすい）

董事長は懸命にみんなの家を作ってきた。従業員はうれしくて、お客様は褒めてくれる。合璧の花園に来てごらん。そこに立つ彫刻像。緑の草花、舞い飛ぶ蝶。柳やツツジののどかな風景。

わたしたちは董事長といっしょに食事を。古い習慣は変わったよ。董事長に連れられて黄山見物。一路聞かえる大きな歌声。一致団結の精神だ。日本に新しい管理概念を学びに行くものもある。合璧のイメージは変わったよ。変わったよ！

未来の四十年に挑戦だ。大事なものは智慧と行動。ここにいるみんなは人材だ。会社が育てた人材だ。各方面で新開拓。合璧人の経験は深まるばかり、深まるばかり。新しい年、スタート地点も目標も高く。よい経営で感謝を忘れず。

過去四十年は素晴らしい。みんなで努力を続けよう。そうすれば今後四十年も輝かしい。輝かしい！

劉雪花

合璧流の統後感

合璧公司発行の「合璧流」を読むと、詹董事長率いる合璧流の発展の歴史がよくわかるとともに、董事長の大きな愛に深く胸を打たれます。合璧は創立40年、この間の経営には董事長の処世哲学、価値観、経営理念、企業文化といった要素が深く関係しています。そして今では、これらは合璧の企業経営において欠かせない精神的支柱となっています。

董事長は「関心、関懐、関照（気配りと思いやりで接する）」を行動方針としていますが、これは従業員の袁英さんを助けた例からもよくわかります。袁英さんは風湿性心臓病を患い緊急に手術を迫られました。董事長は袁英さんが手術費用の5万円を用意できないのを知ると、その場で「全力で何としても彼女を助ける」と命令しました。そして手術当日は30分ごとに台湾から電話で状況確認をしました。また、後日上海に来たとき、何よりも先に術後の袁英さんのお見舞いに行きました。董事長は企業人として成功を取っていますが、同時に従業員のことを心から思う純粋さや謙虚さも備えているのです。

合璧公司では5S（整理、整頓、清掃、清掃、しつけ）が行われています。企業で働く従業員にとって良好で和やかな職場環境は何よりも大切ですが、5Sは職場や生活の環境に安全、快適、明るさを与え、従業員の「真善美」を向上させ、さらに企業のよいイメージを作り出し、他社との差別化を可能にします。清潔な環境は自分の手で作り出してこそ、その後も汚さずにそのままの状態を維持しようと思えます。おそろく董事長はこのことを知っていたのでしょう。とにかく、これはわたしたちも学ぶべきところだと思います。

このほか合璧を讀んで、董事長が30年以上にわたって毎朝4時に起きて運動を続けていることを知りました。簡単なことではありません。こうした堅い決意もだれもが学ぶべきだと思います。「利益の創造は企業の過程に過ぎない。感謝と報恩の念を以て、社会に寄与することこそ我々の最終目的だ」。これは董事長の言葉です。合璧公司の今日の成功、それは董事長の固い決意と切っても切り離せないものだと思えます。

工商銀行馬陸支店 陸華華經理



出版社：合璧文化基金会 发行人：詹其力 编辑指导：陈庆煜、詹杰文 总編：王迎春、林生富 编辑委员：刘仙、李海燕 印刷：上海臻禾印刷有限公司 2011/03 第7期 03月10日发行

黄金の五年に向けて 新年、董事長が従業員の父兄に送った手

従業員父兄の皆様へ

従業員及びご家族の皆様、明けましておめでとうございます。わたしは合璧公司グループの董事長・詹其力です。

いつの間にか2010年が過ぎ、2011年のはじまりました。早いものでわたしも74歳、合璧公司も40歳になりました。そこで新年というめでたい日に、董事長としてわたしはいついたこと、それは皆様に手紙を書くということです。手紙で皆様に新年のごあいさつをするとともに、皆様に対する感謝の気持ちを伝えたいと思ったのです。

合璧公司は昨年、過去にない素晴らしい業績を残すことができました。これも偏に皆様のご息、ご息女の間で努力と終始それを支えた皆様のおかげだと思っております。改めてここに感謝申し上げます。

世の中の親というものは自分の子供が可愛くて、彼らが大人になって、一日たりとて心配しない日はなく、気に掛けない日はないものです。彼らが傷つくことを恐れ、夢の中でそれを思い出しては心配します。これについてはわたしもまったく同じです。彼らが学校を卒業して我が社に入社した日から、合璧という大家族の家長として彼らのことを自分の孫のように思ってきたからです。わたしは目を閉じて自問します。彼らのことが好きなのかと。その答えは……、わたしは彼らのことが心から好きです。彼らといっしょにいるのが楽しいです。わたしは彼らに台湾のお金を記念にあげるとき、いつも彼らと彼らの家族、つまりは皆様の健康と幸運を祈ります。彼らといっしょに写真を撮るとき、彼らがまるで自分の祖父にするようにわたしの手を取るのを見るとき、いつも大きな喜びを感じます。彼らが大きな声でわたしのことを「爺爺」と呼ぶのを聞くと、いつもこんなによい孫たちに囲まれていることに幸せを感じます。



わたしたちはみんな大家族



将来の合璧を背負って立つ新入社員たち

創造は企業の過程に過ぎません。感謝と報恩の念を以て、社会に寄与することこそ我々の最終目的なのです。そのために合璧は毎年利益の5%で社会援助を行っています。また、合璧はいつも従業員やその家族のことを第一に考えます。わたしは従業員に約束しました。それは「皆さんとその家族に何か大きな問題が起きて、自分らの力で解決できないとき、わたしは進んで皆さんを助けますから、安心して働いてください」ということです。

よい製品を作るにはよい人材が必要です。それにはきれいな職場環境を作るだけでなく、大量の人と物を投じて教育訓練システムを作らなければなりません。また、従業員には給料だけでなく、感謝の理念を与えなければなりません。そのために毎朝の5Sで彼らの心を浄化し、ともに素晴らしい雰囲気を作り上げていくのです。こうした合璧の精神がやがて従業員の家庭に、さらには社会全体に広まっていく、これこそがわたしが企業を営む最終目標です。「一日合璧人となれば、生涯合璧の精神を得る。わたしたちは合璧という温かい家族」。わたしたちは毎朝大きな声でスローガンを唱えます。「わたしたちはみな家族。わたしは合璧を愛しています。合璧もわたしを愛しています」。

過去を振り返って感謝し、未来に向かって挑戦し、それを続けていく。今、合璧は来る黄金の五年に向けて歩き始めており、この素晴らしい時代を迎える準備もできています。董事長のわたしはさらにその後の未来に向けて、従業員が頑張ることのできるよい土台を作りたいと考えていますので、どうか皆様のご息やご息女が頑張って団体の価値や人生の価値を掴み取るための、ご理解とご支援をお願いしたいと思います。

最後にもう一度感謝の意を表します。そして新しい年、皆様が幸せでありますように。お時間があれば、ぜひ上海合璧に遊びに来てください。合璧公司グループ董事長 詹其力 2011/1/15 新年恭賀

利益の創造は企業の統整過程、「価値創造、共生共榮、感謝と恩返し、社會への還元」、これこそわたしたちの最終目標。



きのうの種がきょうは立派な収穫に